

小野 加乃花さん

宮崎県
佐土原高校出身

金工の奥深さを学べる講義は
興奮と感動も得られ、
充実の日々を味わえます

高校のときは、卒業したら県外の大学でクリエイター系の勉強をしたいと漠然と考えていました。造形短期大学部は先生に紹介され、地方入試も実施していることから「学生のことを大切に考えてくれている」と感じ、興味をもったのが始まりです。

高校でDTPやCI/VI、グラフィックなどデザイン系を専攻していたこともあって、同系統の科目には抵抗なく向き合うことができました。しかし、自らの手で行う「ものづくり」に強く惹かれ、陶芸や染色、織、そして金工・アクセサリーを選択。中でも特に面白かったのは金工です。金属などを溶かして形づくる鑄金、何度も叩いて成形する鍛金、そして模様をつける彫金など、金属工芸の世界は奥が深く、受講するたびに「もっと技術を身につけたい」と思いました。工程は地道な作業の連続ですが、完成に近づくにつれて緊張感がワクワク感へと変わっていく感覚には、とても胸が高鳴りました。

卒業研究では「海と空」をテーマに、伝統的な技法を用いてペンダントとブローチを制作。自分で身につけ、誰が見てもステキと感じてくれるような特別なものを目指しました。卒業後は金工と離れますが、ひたむきに目の前の作品と向き合った姿勢は、この先も活かせる瞬間があると思います。あのワクワク感を忘れず、今後も何事にも挑戦していきます。



● 金工・アクセサリーA「ネックレス」



● 印刷デザイン「ノート」



● 金工・アクセサリーB「七宝焼」

